

資料 1

平成30年度第2回行田市総合教育会議

行田市教育委員会学校教育課



全国・埼玉県学力・学習状況調査結果（H29・H30）

～第5次行田市総合振興計画「教育力の向上まちづくり指標」より～

- 色が付いた項目は、県平均を上回ったもの
- /が付いた項目は、昨年度を上回ったもの

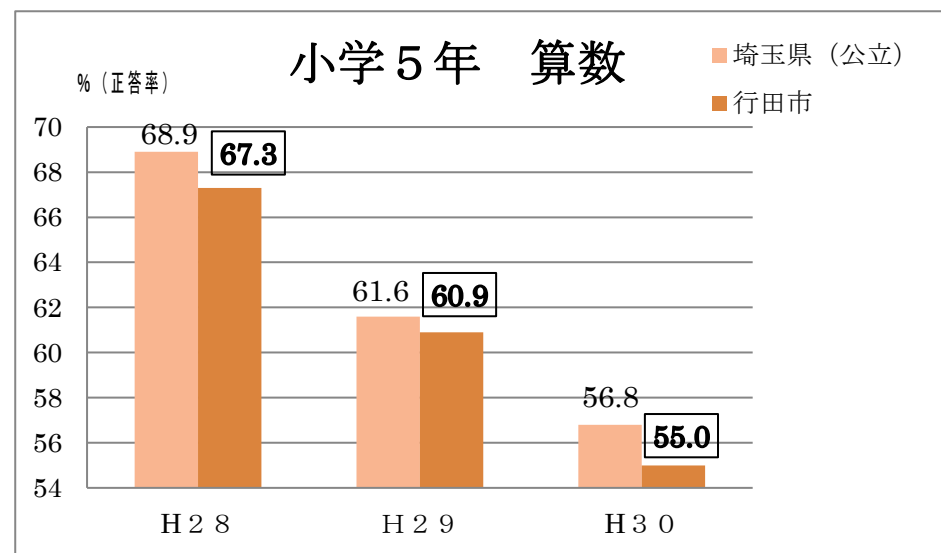
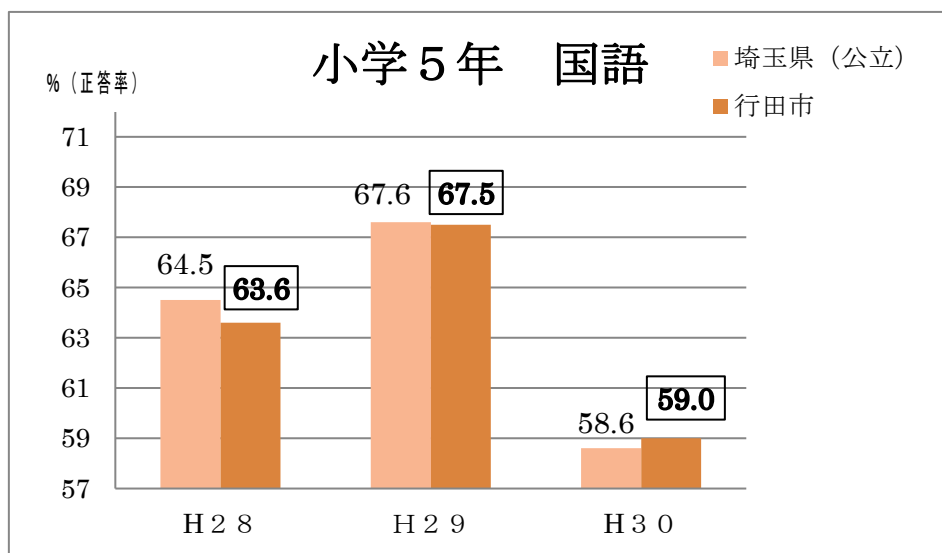
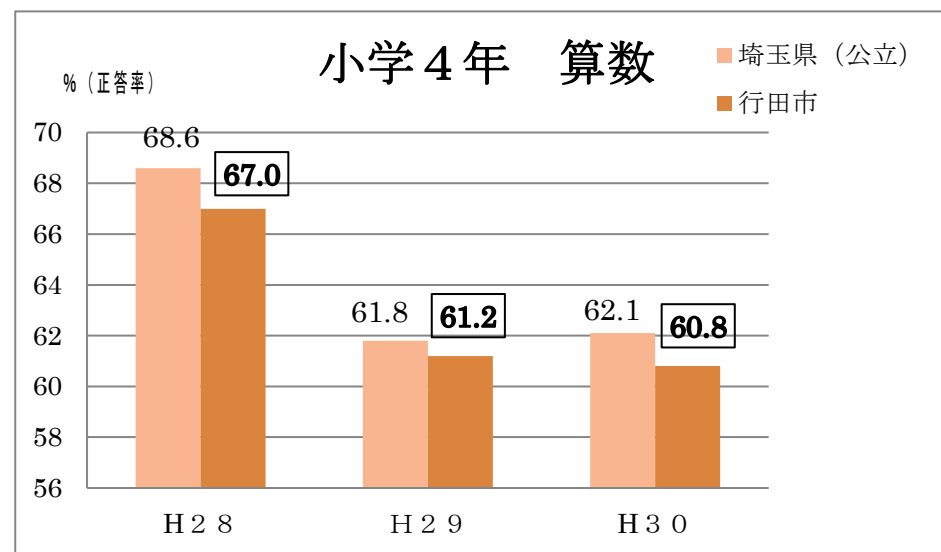
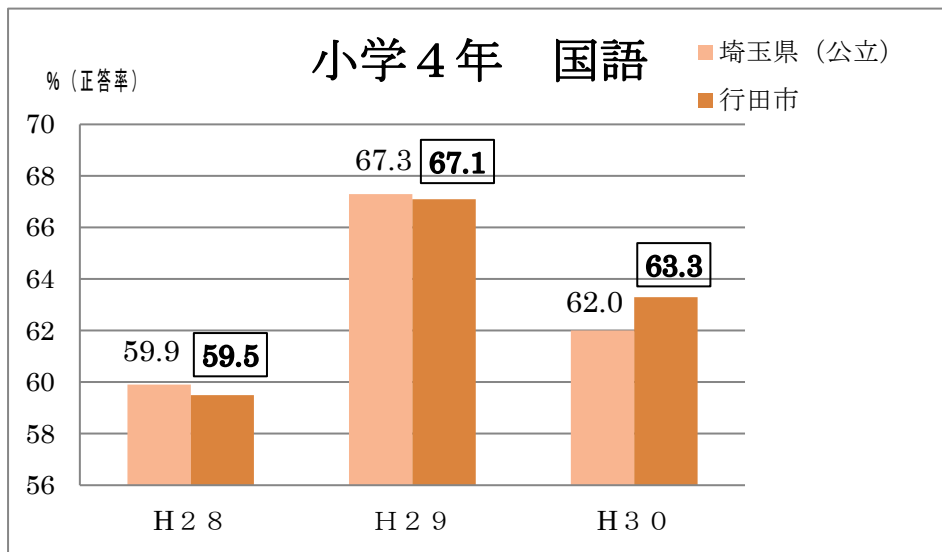
【全国学力・学習状況調査：県平均を100】

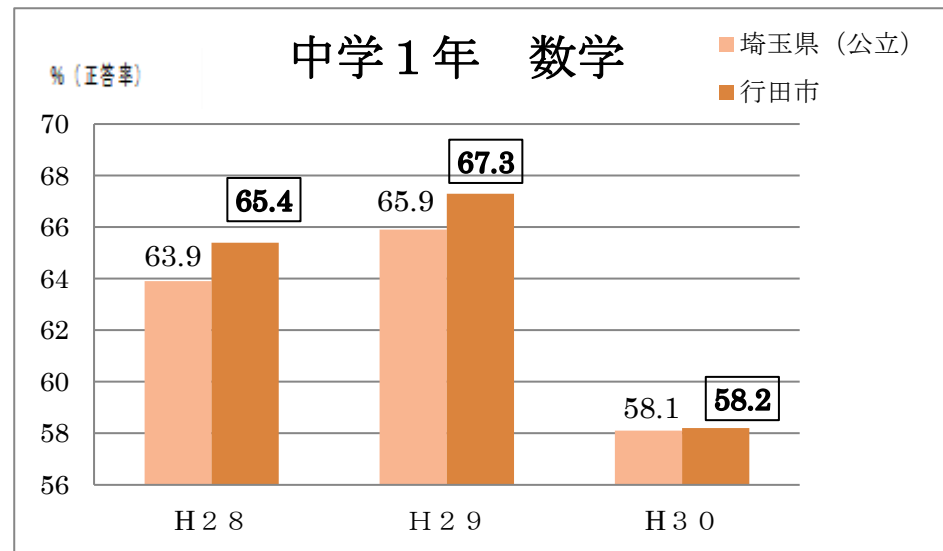
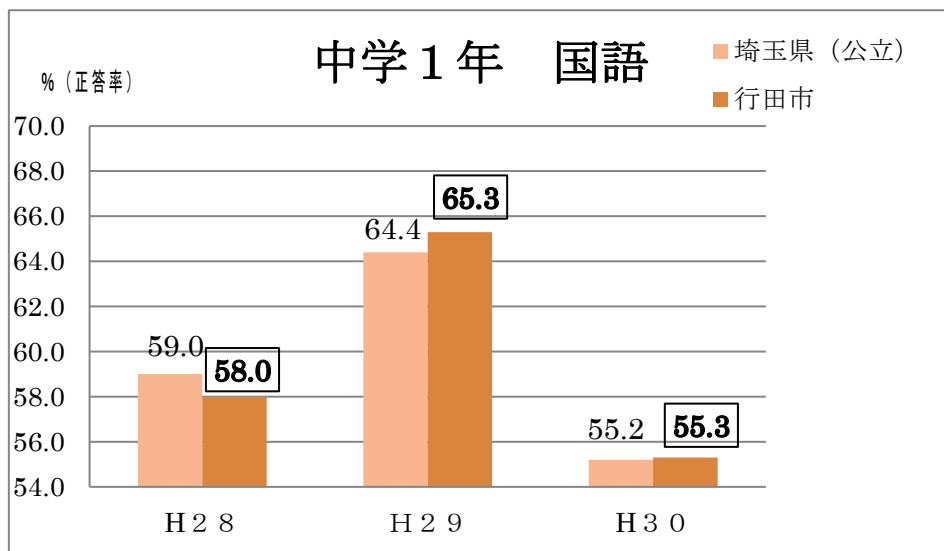
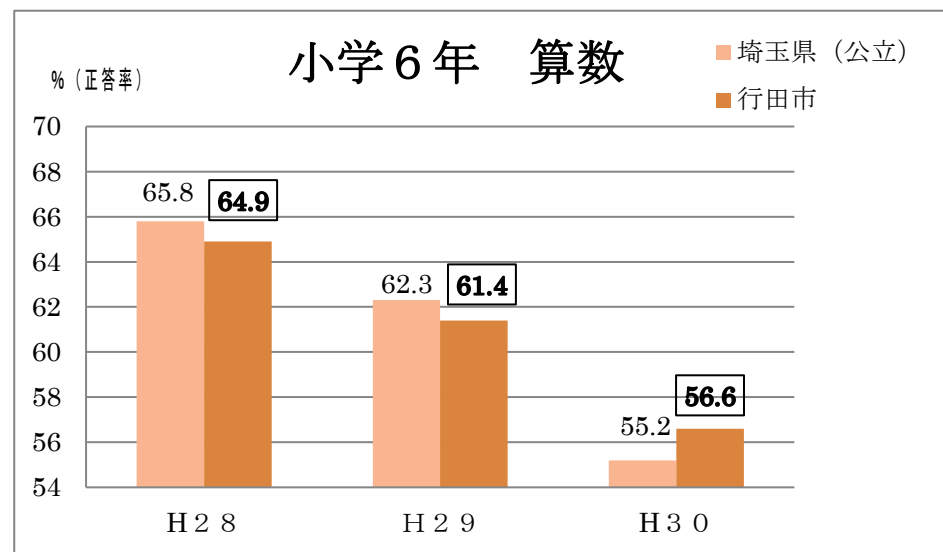
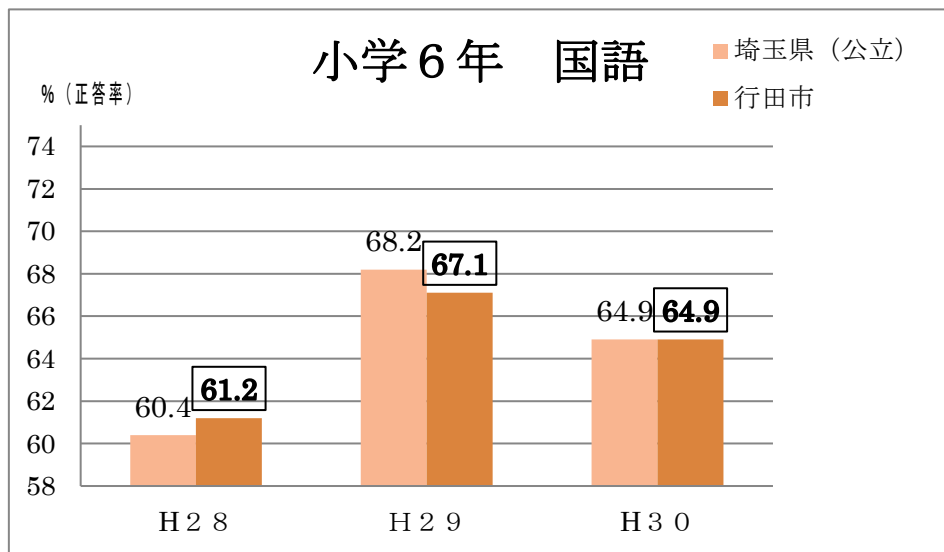
		H29	H30
小 6	国語 A	97.3	↗100.0
	国語 B	93.0	↗98.1
	算数 A	97.4	96.8
	算数 B	88.9	↗96.0
	理科	H27 96.8	↗98.3
中 3	国語 A	96.1	↗100.0
	国語 B	97.2	96.7
	数学 A	95.2	↗96.9
	数学 B	93.8	↗95.7
	理科	H27 101.0	98.5

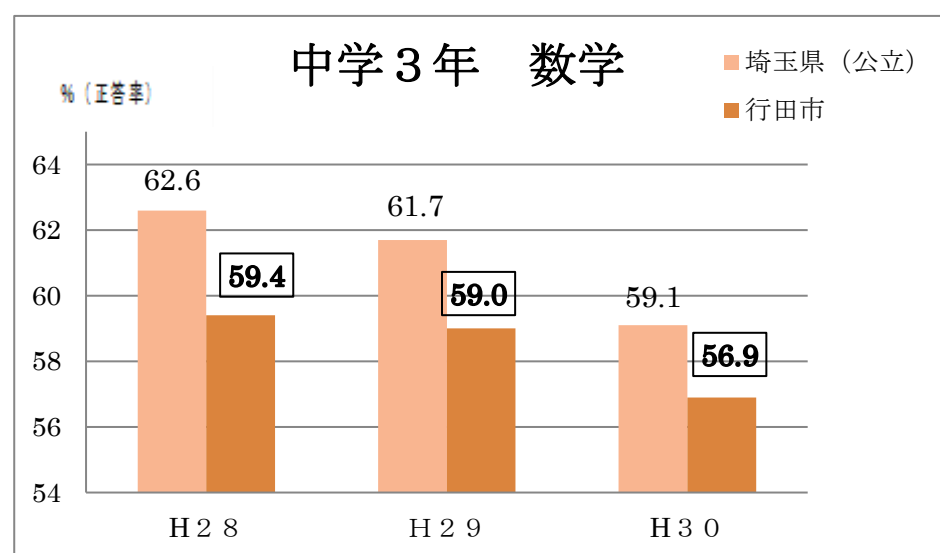
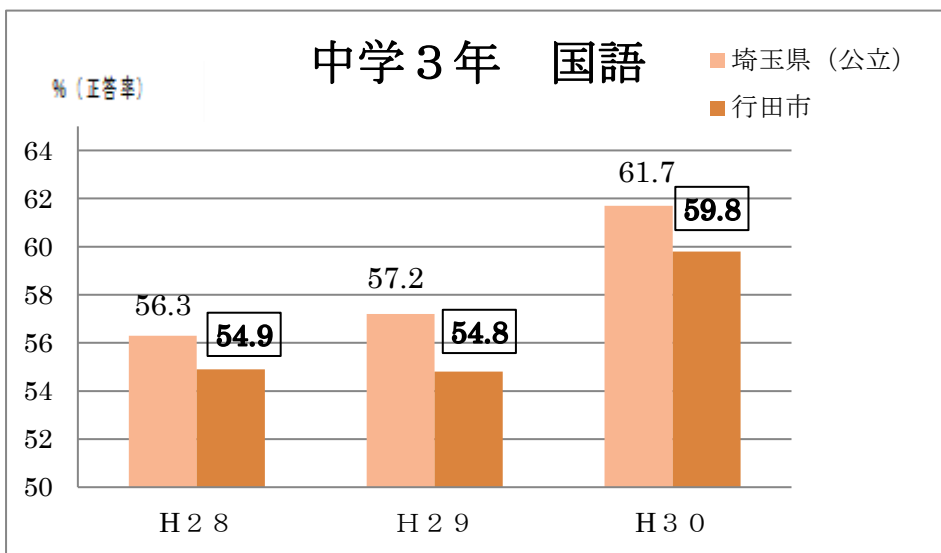
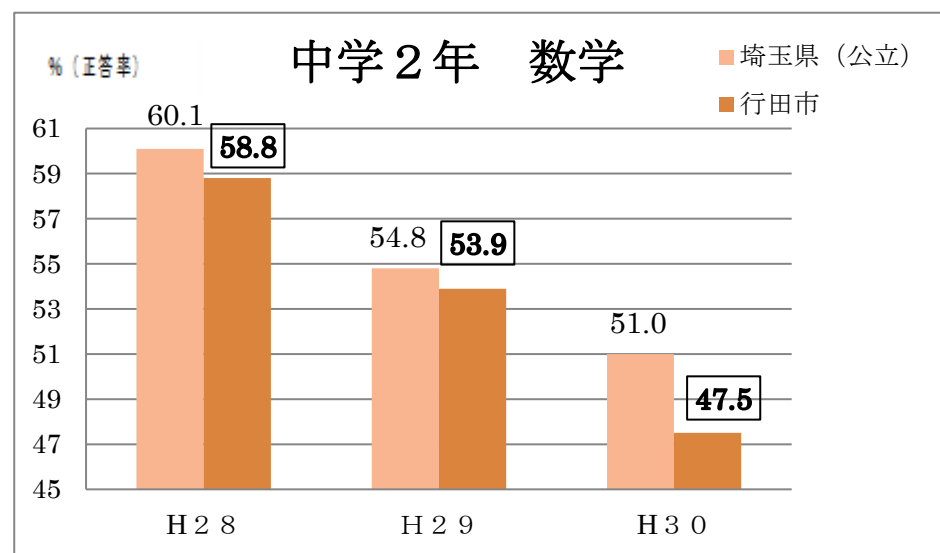
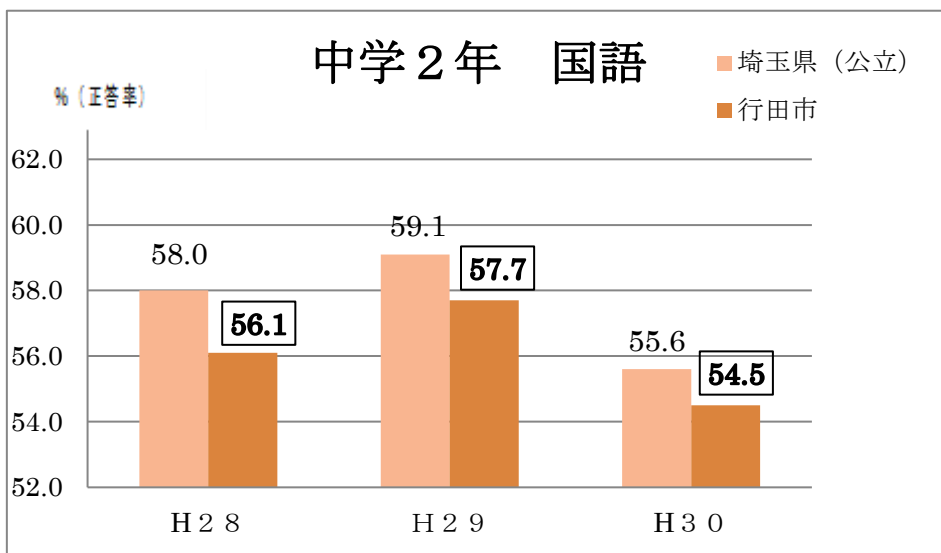
【埼玉県学力・学習状況調査：県平均を100】

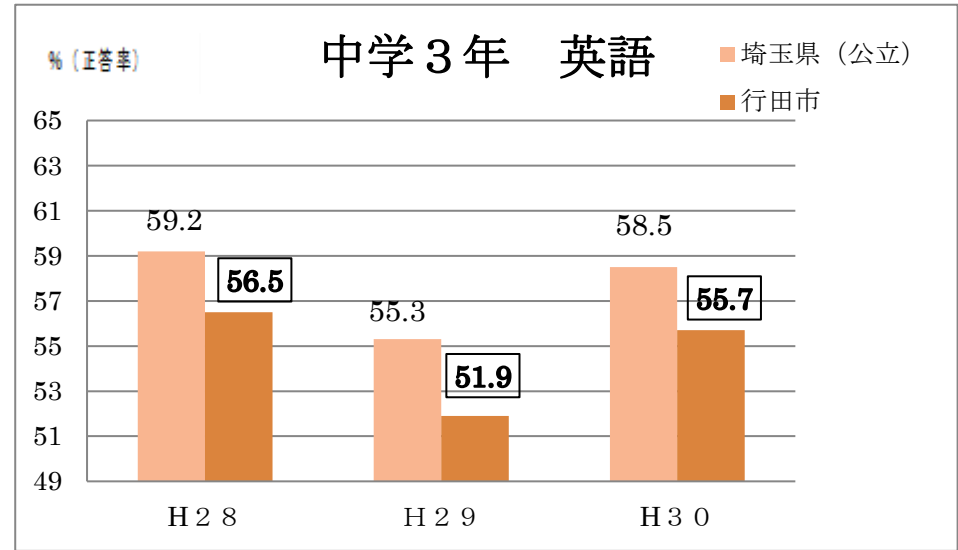
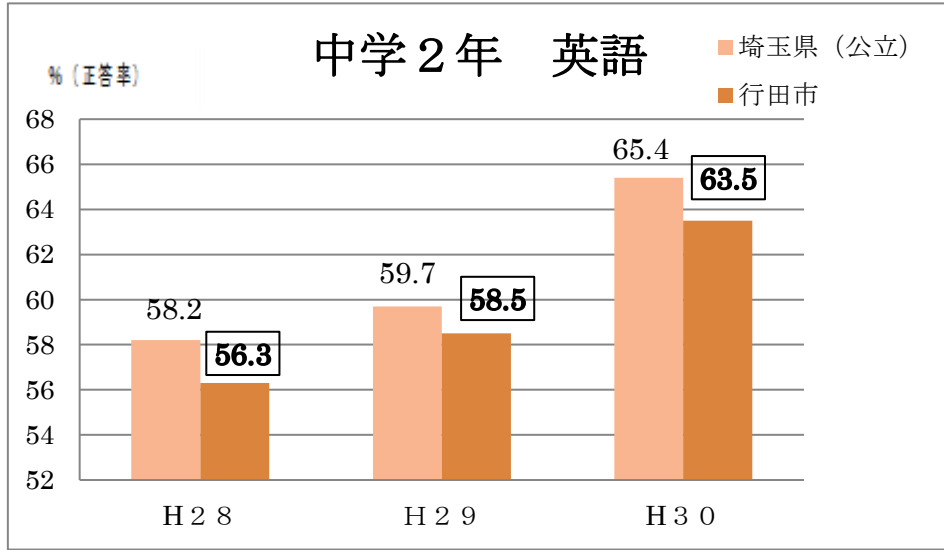
		H29	H30
小 4	国語	99.7	↗102.1
	算数	99.0	97.9
小 5	国語	99.9	↗100.7
	算数	98.9	96.8
小 6	国語	98.4	↗100.0
	算数	98.6	↗102.5
中 1	国語	101.4	100.2
	数学	102.1	100.2
中 2	国語	97.6	↗98.0
	数学	98.4	93.1
	英語	98.0	97.1
中 3	国語	95.8	↗96.9
	数学	95.6	↗96.3
	英語	93.9	↗95.2

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果について（平成28～30年度の県との比較）

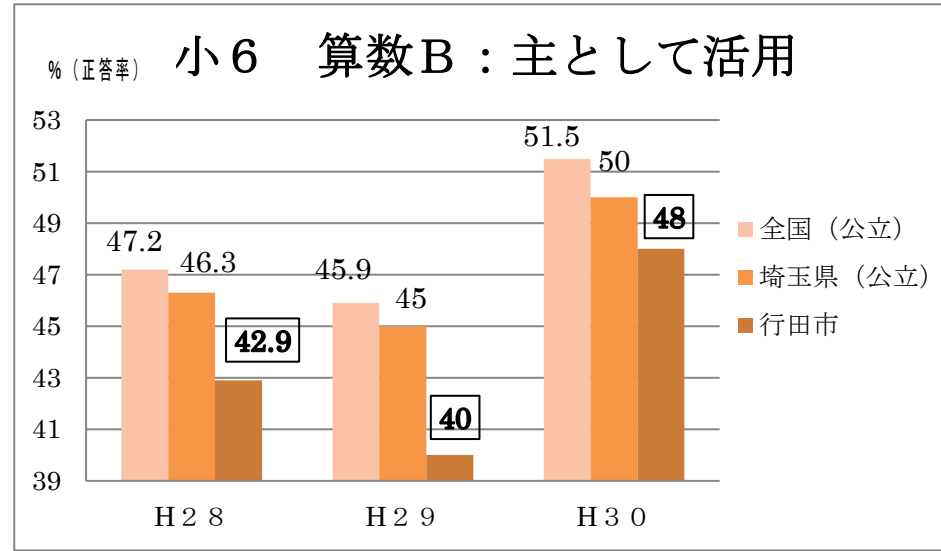
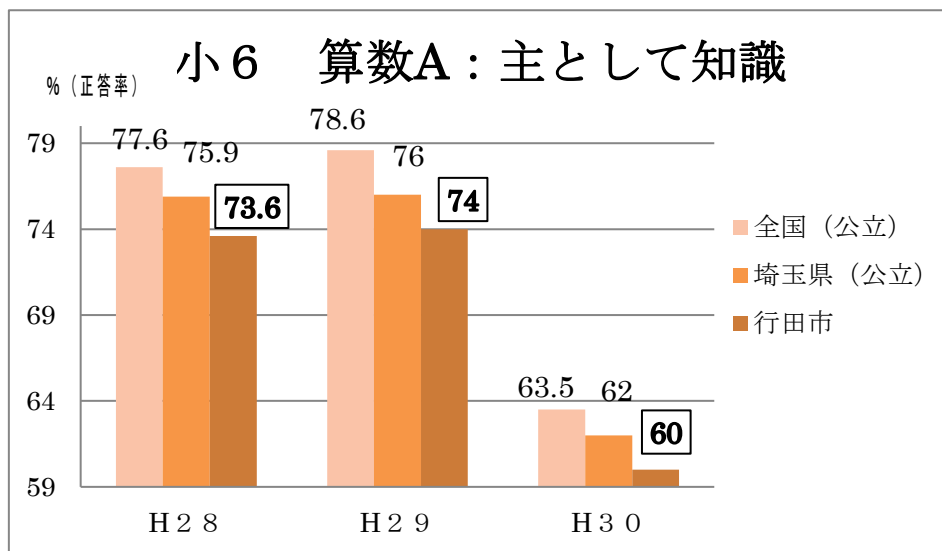
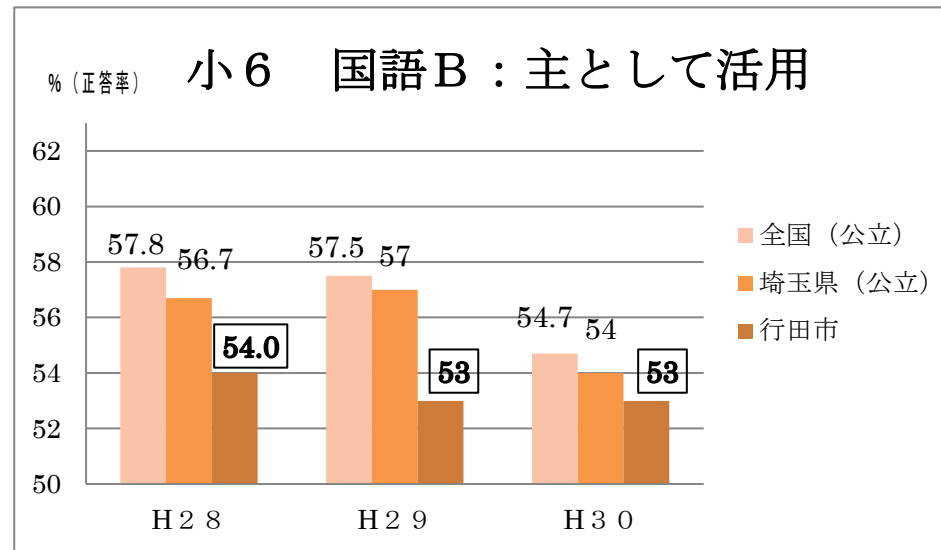
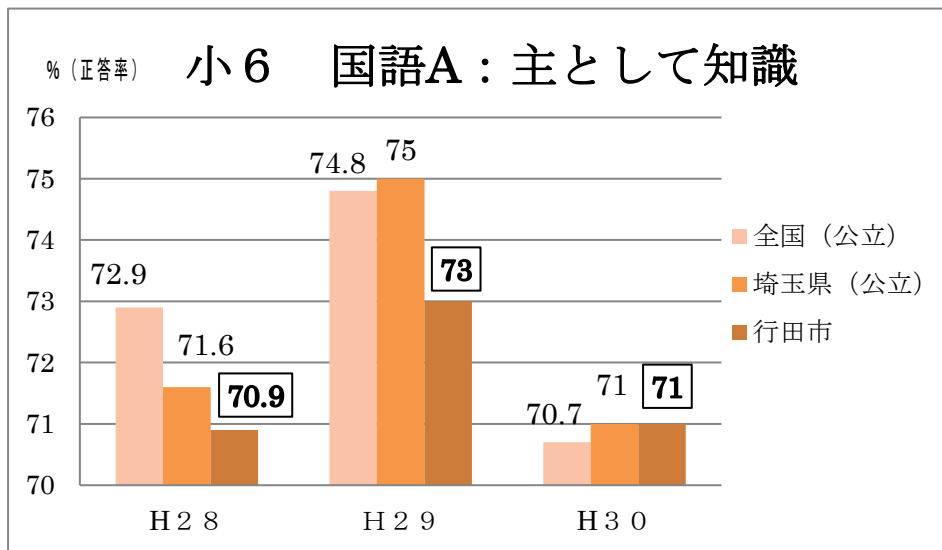




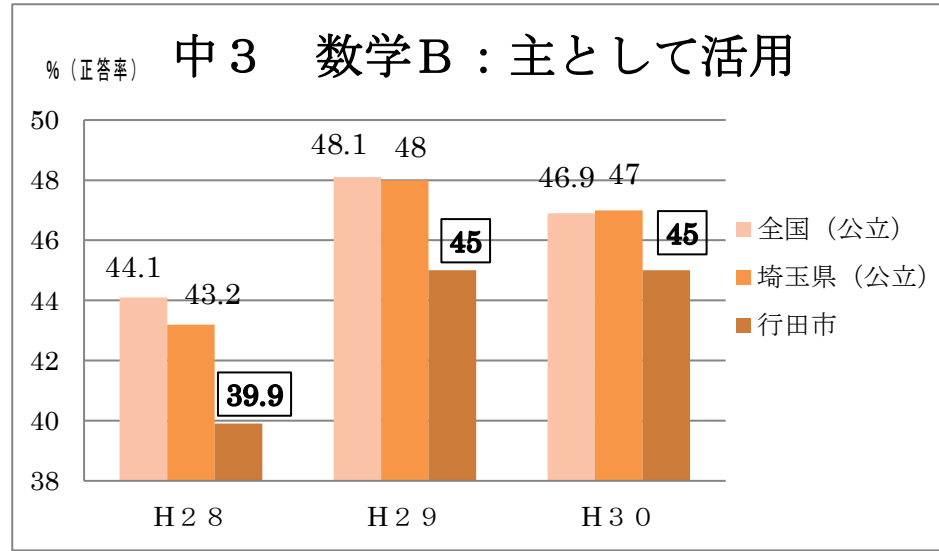
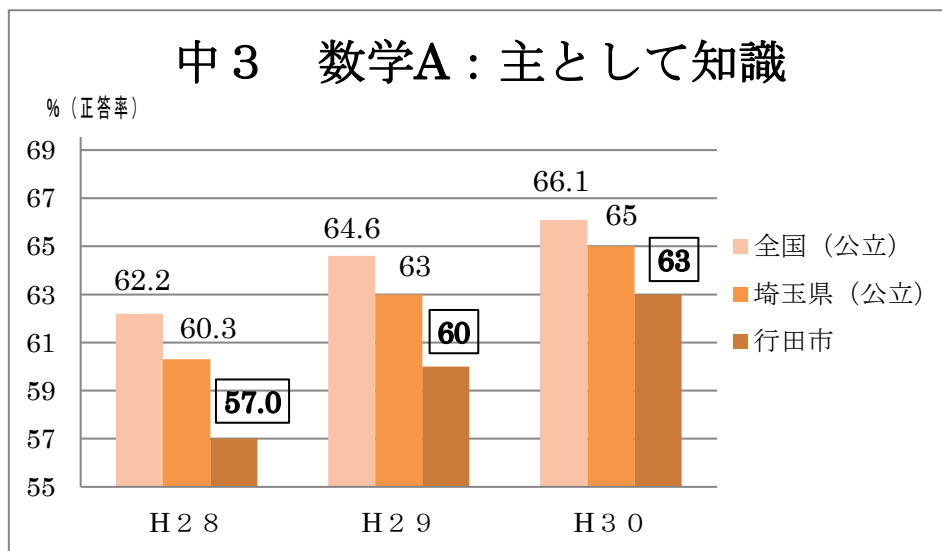
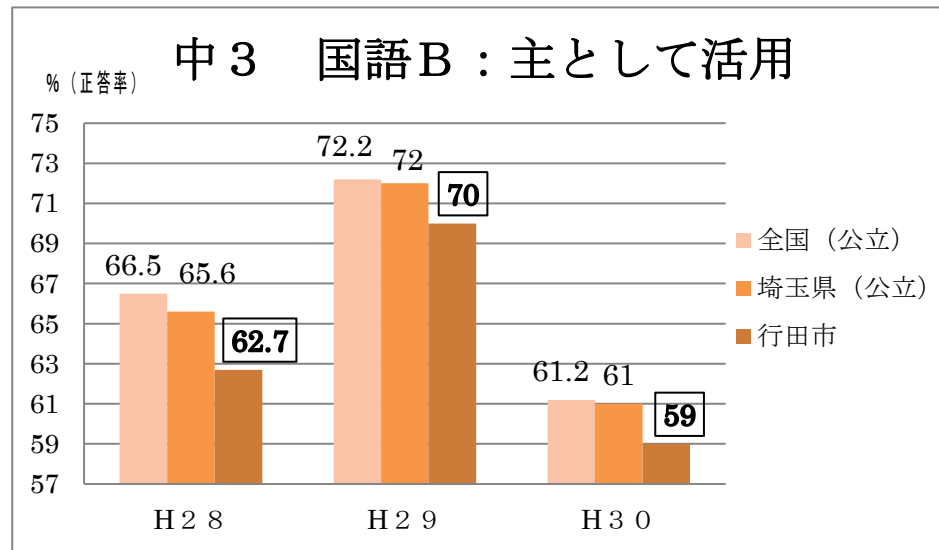
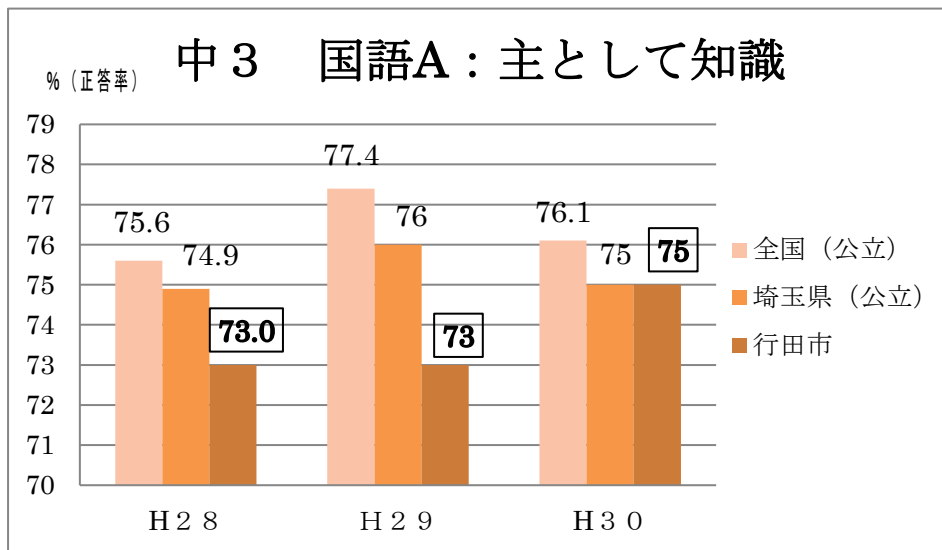




平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について《小6》(平成28~30年度の比較)



平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について《中3》(平成28~30年度の比較)



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善を目指して

主体的な授業とは

- ・ 子供たちに学習の意欲づけができる授業
- ・ 子供たちに学習の見通しをもたせ、振り返りができる授業
- ・ 子供たちに満足感を味わわせる授業



そのために

学習課題の明確化
と意識化

板書の構造化

発問の精選

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善を目指して

対話的な授業とは

- ・ 双方向の対話型授業（聞き合える授業）
- ・ 互いの考えを比較する授業



そのために

発問の精選

場の設定

ノート指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善を目指して

深い学びのある授業とは

- ・ 問題解決的・探究的な授業
- ・ 「見方・考え方」を働かせながら、知識を関連付ける授業



そのために

学習課題の明確化
と意識化

板書の構造化

発問の精選

振り返り

学びをつなぐ

○学力向上推進委員会の取組

学力定着への支援

どの先生がどの学校に行っても、
同じように子供たちに指導ができるため

「うきしろスタンダード」の活用

- 「**う**」・・・うれしさアップ・やる気アップにつながる**励ましの言葉**
- 「**き**」・・・きちんと整理された板書・**学習課題を振り返られる板書**
- 「**し**」・・・しっかり定着 うきしろ**家庭学習ノートの使い方**
- 「**ろ**」・・・論理的・協働的に学び合える、**教師の発問**

うきしるスタンダード

行田市学力向上推進委員会



うれしさアップ・やる気アップにつながる励まし言葉

小さなことでも
ほめる

気付いたら
すぐにほめる



結果ではなく
過程を（努力を）
ほめる

具体的にほめる

明るく笑顔で、名前を添えて

話し言葉		書き言葉	
学 習 (授業)	生 活 (当番・係等)	学 習 (ノート指導等)	生 活 (日記・連絡帳・生活記録ノート等)
一生懸命 やってるね	ありがとう 助かったよ	〇〇さんのノートは みんなのお手本です	～している姿は すばらしい
いいところに 気付いたね	がんばってい るのを知って いるよ	この学習が あなたの力に なっています	〇〇さんの がんばりに拍手
この考え すごくいいね	すごいね！ たいしたもんだ	がんばって 続けていますね	さすが 〇〇さんです
〇〇さんなら できるよ	みんなに紹介 するね	よくまとめて いますgood!	応援しているよ

全てのことは信頼関係から。そして、あなたの言葉であなたらしく。

学力向上の合い言葉「まなびのめ」

- ① まえ向きに あきらめず
- ② のびるコツは 予習・復習
- ③ なぜだろうと じっくり考え
- ④ めざそう 真の学力アップ
- ⑤ ひろげよう 学んだことを

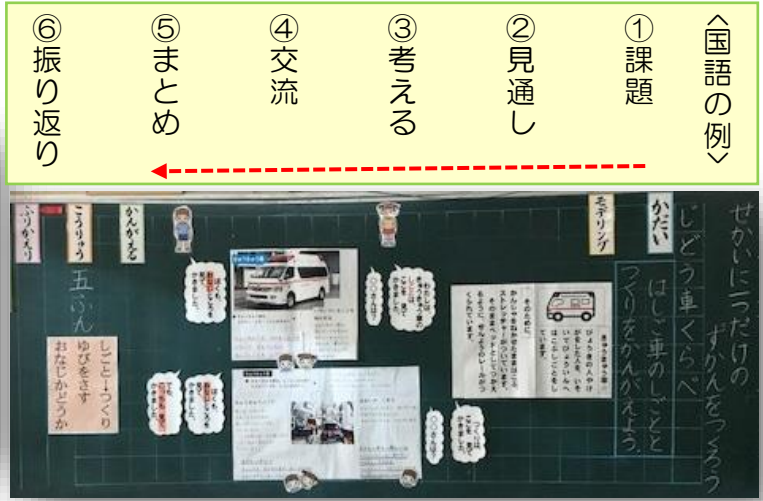
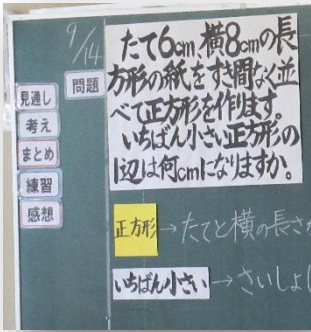


きちんと整理され、課題とまとめが明確な板書

1 流れがわかる

<算数の例>

- ① 問題
- ② 課題
- ③ 見通し
- ④ 考える
- ⑤ まとめ
- ⑥ 練習
- ⑦ 振り返り



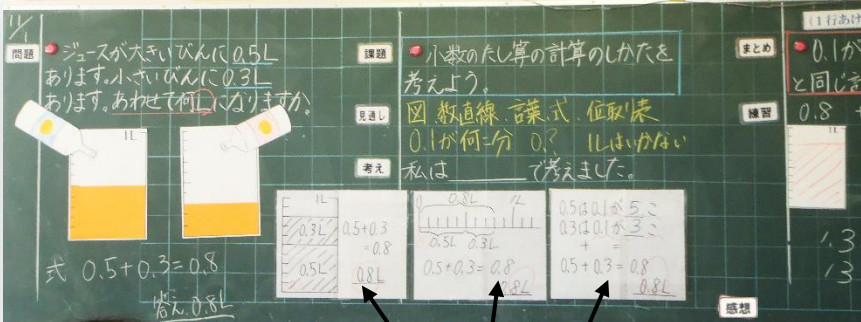
本時の課題 「きちんと整理され、課題とまとめが明確な板書を書こう」

- 1 そもそも板書とは「情報共有の場」である！
- 2 「本時のめあて」と「まとめ」がリンクしている
- 3 事前に板書計画を立てておく → **学習の可視化**
- 4 子供の意見や思考のプロセスを生かす
- 5 記号、矢印、アンダーライン等視覚に訴える
 - チョークの色の約束 記号の約束を決める
 - 例 赤：最重要 黄色：重要 ⑥注意
 - 箇条書きや図式化で見やすくわかりやすく

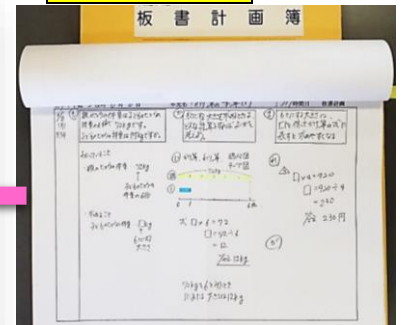
2 見やすく チェックポイント

- ① 板書の字の大きさと丁寧さ・配色
- ② 子供の意見が活かされている
- ③ 教室の端の子供にも見やすい
- ④ ノートをとる時間は確保
- ⑤ 写真や記録をとって工夫・改善

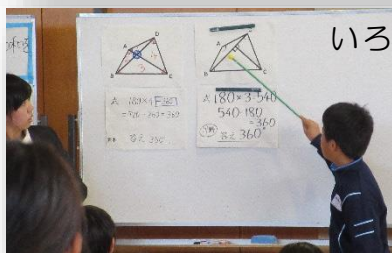
3 子供の考えを深める



4 準備 8割

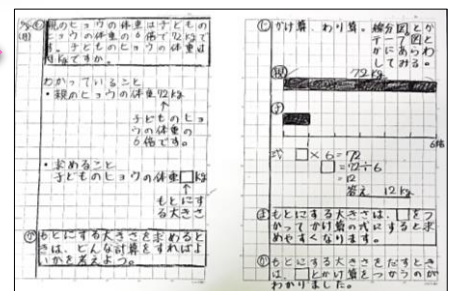


板書計画簿を作成



いろいろな子供の考え方

ノートとリンク



補助黒板等の活用



しっかり振り返り、やる気いっぱいの家庭学習

家庭学習の定着を目指して

学習メニューを決める

①学習したことや、学習することをまとめる？

②練習する？

③好きなことを調べる？

めあてを書く

①授業の復習・予習

②反復練習(繰り返し練習)

③研究(調べる、まとめる)

学習の振り返り

- ・メニューを決める
- ・日付、学習場所を書く
- ・開始、終了時刻を書く

- ・何を学ぶのか
- ・何をできるようにするのか
- ・何に気を付けて学ぶのか

- ・めあてを守れたか
- ・分かったこと
- ・次にやりたいこと
- ・思ったこと(感想)

学習時間の目安

<小学生：宿題＋自主学習>
(学年＋1) × 10分間
<中学生：予習・復習>
(学年＋1) 時間

ノートの使い方

- ・下敷きを使う
- ・すきまなく書く
- ・ていねいに書く
- ・線は定規を使う

家庭学習で身に付ける力

「継続は力なり」

- ①毎日続ける力
- ②決められた時間をやりぬく力
- ③自分で少しずつ工夫する力

毎日続ける！

① 授業の復習・予習

- ☆復習は、小学1年生から続けて行う。
(教科書を読む、もう一度やってみる、ノートを見直す、大切なことを書く等)
- ☆高学年は、中学校での学習を意識して予習も行う。(新単元の音読、言葉調べ等)

②反復学習(繰り返し練習)

- ☆漢字や計算は、繰り返し練習することで定着を図る。
- ☆学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わる。

③研究(調べる、まとめる)

- ☆中学生は、授業の進度が早くなるため、予習をする習慣を身に付ける。授業が理解しやすくなり、集中して学習できる。
- 復習** 学習したことの習熟、定着を図る。
- 予習** 授業の理解を助け、集中力を高める。
- ☆教科書を読む。新出単語、漢字に取り組む。

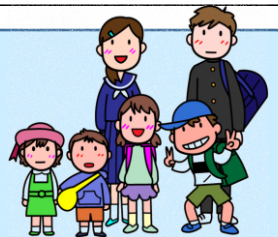
- ☆難しい問題に挑戦する。
- ☆授業で学習したことを、さらに調べる。
- ☆自分の好きなこと、知りたいこと、覚えたいことをいろいろな方法で調べる。
- ☆言葉、図、表、絵等で工夫してまとめる。
- ☆自分の考え(意見や提案)を書く。

<授業>と<家庭学習>の相乗効果で一人一人の力を高める！

<家庭学習>

- ☆ノートの確認は、その日のうちに。
- ☆励まし言葉を添える。
- ☆学習場所や時刻、時間も見る。
- ☆見直し、間違い直しの習慣をつける。
- ◎よい点を認め、クラスに広げる。
→ノートづくりのヒントへ

家庭学習も教師の見取りと支援が必要



<授業>

- ☆課題提示、板書、発問等の工夫
- ☆理解や定着を確認する場の工夫

3

論理的でわかりやすく、生き生きと学び合える教師の発問

全教科に共通した「発問のポイント」

- 発問の意図を明確にしておく。
- 発問に対する応答を予想しておく。
- 発問の内容が1回で子供に伝わるよう、短く簡潔にする。
- 発達段階に応じた適切な言葉遣いで、手本となる話し方をする。
- 「話す速さ、言葉の調子と抑揚、間の取り方、豊かな表情」を意識する。

なぜ～なのでしょう？



導入

「問い」や「思い・願い」を引き出し、学習課題を明確にする。

- なぜ～なのでしょう。
- なぜそう思ったの。
- 本当にできるのかな。
- ～は、全てにあてはまるのかな。

「主体的な学び」の
原動力に！

展開

課題の追究・解決の見通しをもたせる。

- 今まで学習したことで、使えそうなことはないですか。
- 解決するために、どんな工夫ができそうですか。
- ～は、どんな働きをするのかな。

「見方・考え方」を
働かせるきっかけに！

課題の追究・解決に取り組ませる。(ペア・グループ)

- どうやって考えたのかな。
- もう少し詳しく聞かせてください。
- 似ている考えを集めてみよう。
- ～さんと～さんの意見はどこが違うのかな。

「主体的・対話的で
深い学び」を促す！

課題の追究・解決をより深める。

- ～と～を比べて考えるとどうですか。
- ～の視点から考えるとどうですか。
- 言い換えるとどういうことかな。
- ～と～とをまとめるとどうなりますか。

「思考の広がりや
深まり」につなげる！

終末

ねらいと対応して自分の言葉で振り返らせ、新たな学びへの意欲付けを図る。

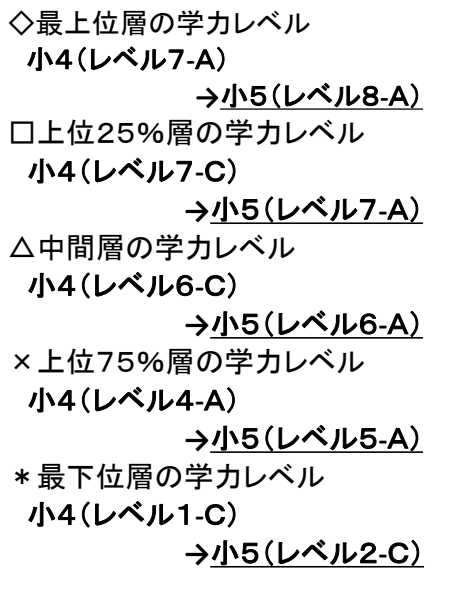
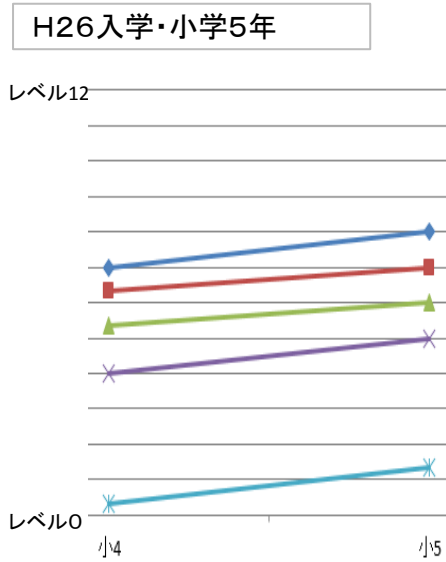
- 出た意見の中でどれが一番納得できましたか。
- まとめると、どういうことですか。
- 今日の学習で分かったことは何ですか。
- 日常生活に使えると思ったことはありますか。
- もっと調べてみたいことはありますか。

「振り返り」が学び
を深め、「次の学びへ
向かう力」を育成！

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力の伸びの状況について<小学校>

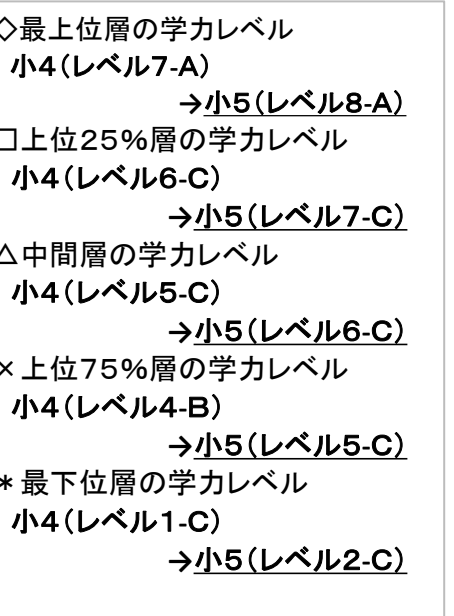
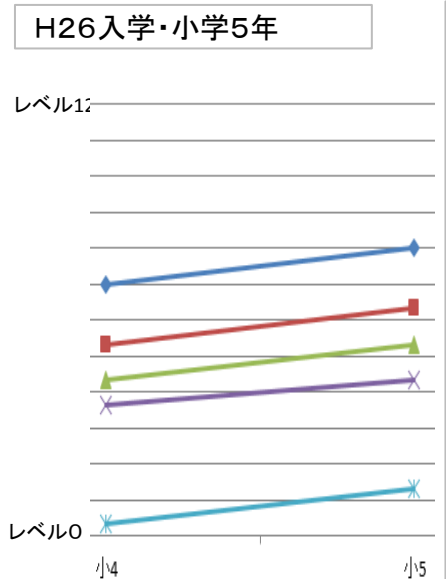
学力の伸びの状況一覧【国語】

※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)



学力の伸びの状況一覧【算数】

※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

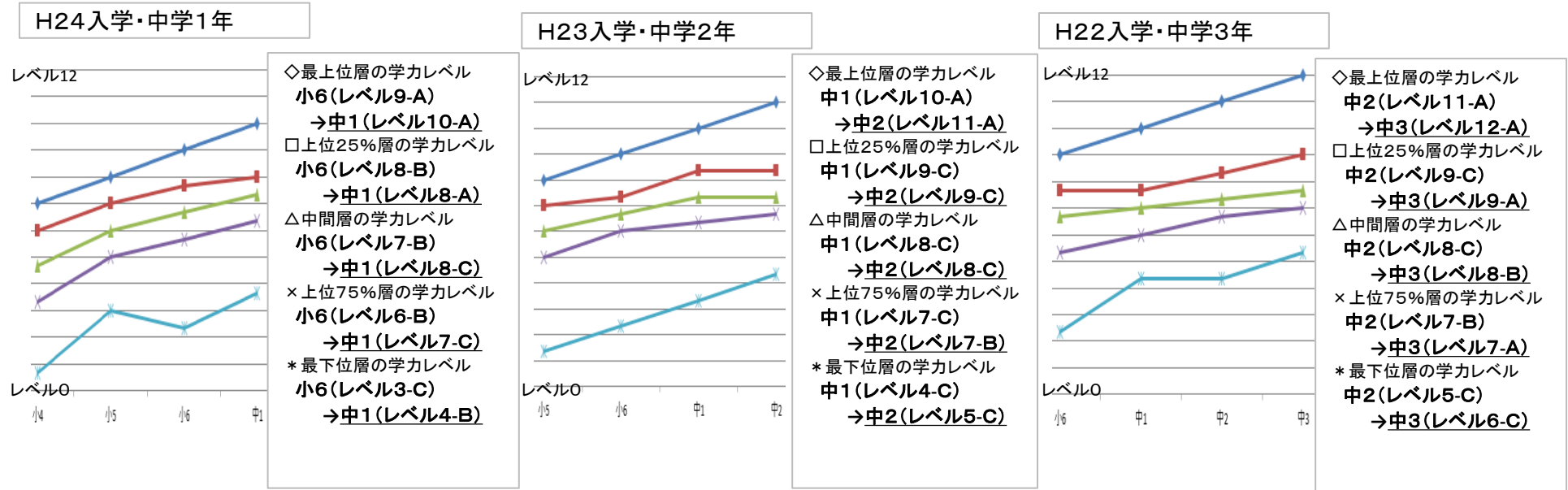


学力の伸びの状況一覧【算数】

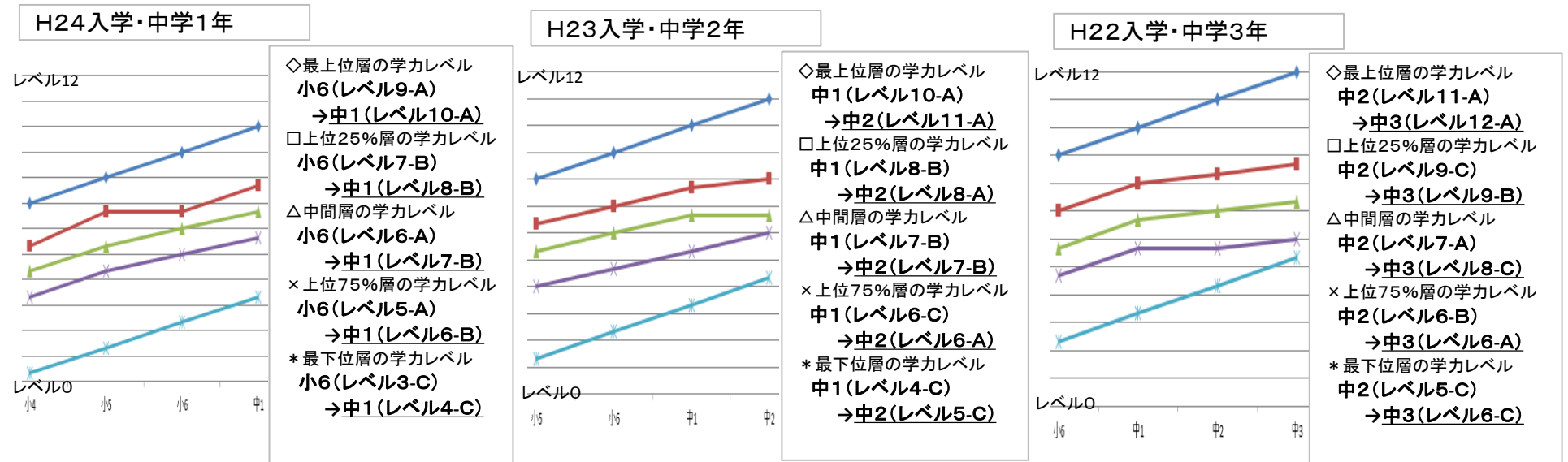
※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力の伸びの状況について〈中学校〉

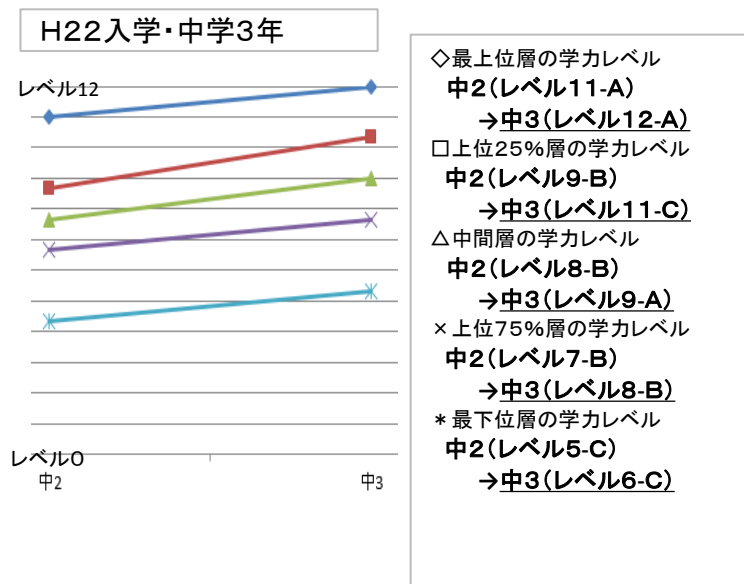
学力の伸びの状況一覧【国語】 ※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)



学力の伸びの状況一覧【数学】 ※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

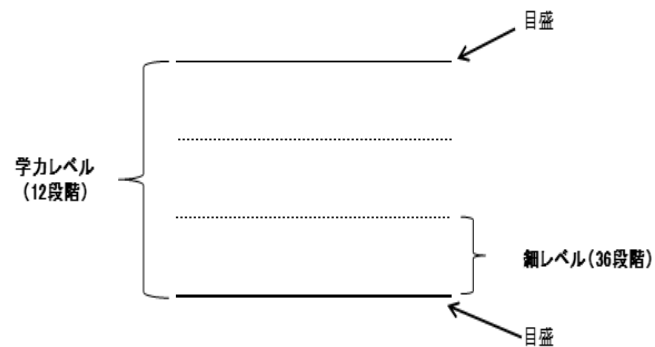


学力の伸びの状況一覧【英語】 ※学カレベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

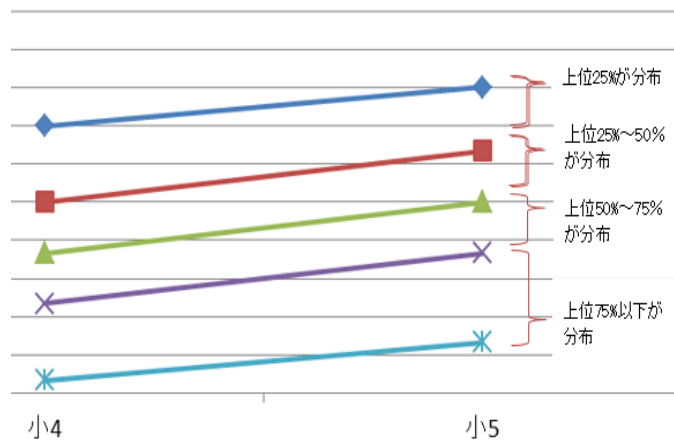


【グラフの見方】

グラフの縦軸は、学カレベルを表しています。
目盛りは、個人結果票の学カレベル(12段階)を表しています。
目盛りと目盛りの間は、それぞれ3段階に分かれています。



線の傾きのパターンにより、それぞれの層に属する児童生徒の状況を把握し、前年度の指導等の効果を考える参考とする。



どの分布も右肩上がり	傾きにばらつき①	傾きにばらつき②
上位層、中位層、下位層の、いずれの層の児童生徒も学力を伸ばしている。	上位層に伸びは見られないが、中位層、下位層の児童生徒の学力は伸びている。	上位層は伸びているが、中位層にほとんど変化はなく、下位層の学力は下がっている。

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力が伸びた児童・生徒の割合 (%)

※色のついた部分は県を上回るもの

	行田市			埼玉県		
	国語	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語
小4→小5	73.3	76.3		71.0	77.8	
小5→小6	65.2	69.9		66.7	65.8	
小6→中1	67.3	69.6		67.0	70.6	
中1→中2	49.9	51.6		57.4	64.2	
中2→中3	59.7	65.9	87.4	60.9	69.1	90.9

平成30年度 学力向上に係る各校の取組(全国・県学力・学習状況調査)のまとめ ダイジェスト版(授業づくりを中心として)

行田市教育委員会

効果的な取組例

(小学校)

- ・「～したい」と思える授業、児童とともにつくる授業
- ・多様な見方や考え方が可能な問題提示や課題設定
- ・見通しを立ててから
- ・「話し方・聞き方のメモ」の共通理解
- ・新聞を活用
- ・「算数の授業の進め方」の共通理解
- ・練り上げまでの効率的な活動と適用問題 15分
- ・本時の課題に対して、自分の思いや考えを書く活動
- ・振り返りを大事に扱い、変容した自分を表現

(中学校)

- ・学習のめあてを提示
- ・ペア・グループ学習を多く設定
- ・自己評価をする時間
- ・ノートに励ましの一言
- ・「◇中スタイル」

「うきしろスタンダード」を活用した授業の実施100%を目指して

(小学校)

- ・いつでも見られるところにおいて
- ・1日1回読み直す
- ・板書計画
- ・発問は繰り返さず短く簡潔に
- ・「うきしろスタンダード」を補う基本的な文型、よい振り返りの例
- ・発問の工夫を校内で共有
- ・校内統一の『板書の約束』
- ・言葉かけ集を作成
- ・研究協議で授業を振り返る際の視点
- ・略案、指導案にどの項目に重点を置くか明記
- ・週案に実施記録を残す(例、「うきしろスタンダード活用の振り返り」欄)
- ・「うきしろチェックシート」
- ・ベテラン教員の授業参観・教師言葉の質を学ぶ

(中学校)

- ・導入の仕方の工夫
- ・声かけや発問の工夫
- ・追求・解決への意欲を高める発問
- ・生徒の言葉でまとめられるように工夫
- ・教科別のスタンダード等

全ての教科につながる読解力向上に向けた、具体的な取組について

【授業における取組】

(小学校)

○国語を中心に全教科で

- ・音読
- ・条件付きの文章
- ・国語辞典
- ・図や言葉など様々なやり方で表現
- ・順序を表す言葉を使って
- ・ペアによる話し合い活動や説明をする活動
- ・「発表ボード」を活用した、話し合いや発表
- ・番号を書く、○をつける、線を引く、書き込みをするなどの作業

○国語

- ・音読・視写・書き抜き・サイドライン・書き込み・イメージマップ・絵を描く・自分の考え(感想)を書く・ワークシート・自己評価
- ・4つの読み
(重要な部分を抜き出す読み・疑問を解決するための読み・正しいかを判断する読み・自分の考えを発信する読み)
- ・並行読書
- ・見出しの工夫、読み手に分かりやすく説明できる文章
- ・要約する活動
- ・友達と発表原稿を推敲

○算数

- ・「わかっていること・問われていること」にサイドライン
- ・たし算になる言葉、ひき算になる言葉

○社会・理科・総合 等

- ・「調べながら考え、考えながら調べること」を繰り返すこと
- ・新聞にまとめる

○図工

- ・事前に調べ、資料をもとに創作する

(中学校)

○全教科で

- ・1時間の中で「考えさせる発問」を意識
- ・複数の情報を比べながらまとめる
- ・身近な題材を取り上げた実践的な課題を出題
- ・定期テスト後に解説をする時間を設け、出題の意図について説明

○国語

- ・授業開始時5分間を漢字練習・語句調べ
- ・音読を速く正確にするための練習
- ・要約する練習

○数学

- ・関連する図や表を活用

○社会

- ・教科書を音読
- ・2つ以上の資料(グラフ、写真、標本、統計表、地図等)を関連させて、文章にまとめる活動

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査（小学校4～6年質問紙調査）
 全国学力・学習状況調査（小学校6年質問紙調査）結果

行田市教育委員会

最も肯定的な回答（あった、できる、思う、している）の値（単位％）

色のついた部分は県・全国平均を下回るもの、（ ）内は県・全国との差（無印は上回る、▲は下回る）

	質問事項	県調査			全国調査
		小4	小5	小6	小6
授業に関する項目	1 県 授業の始めに、先生から、どうやったら課題を解決できるか考えるように言われた	36.8 (3.5)	37.9 (2.7)	39.9 (2.8)	
	2 県 先生や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができていた	42.6 (4.4)	37.6 (4.7)	34.3 (3.4)	
	3 国 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う				40.9 (6.2)
	4 県 授業（国語、算数）では、自分の考えを理由を付けて発表したり、書いたりできたことがあった	50.9 (4.4)	47.3 (4.2)	47.6 (3.5)	
	国 授業（国語）では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う				40.4 (11.3)
5 県 授業（国語、算数）では、グループ活動のとき、一人の考えだけでなくみんなで考えを出し合って解決することができた	56.3 (▲1.3)	61.0 (4.4)	63.4 (1.6)		
家庭学習に関する項目	6 県 学校の宿題をしている	83.6 (▲1.8)	90.3 (1.1)	90.9 (2.5)	
	7 県 学校の授業の予習や復習をしている	40.9 (7.8)	46.8 (1.1)	46.9 (10.3)	
	8 国 家で、自分の計画を立てて勉強をしている				37.4 (6.7)
	9 国 新聞を読んでいる				6.9 (▲0.5)

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査（中学校1～3年質問紙調査）
 全国学力・学習状況調査（中学校3年質問紙調査）結果

行田市教育委員会

最も肯定的な回答（あった、できる、思う、している）の値（単位％）

色のついた部分は県・全国平均を下回るもの、（ ）内は県・全国との差（無印は上回る、▲は下回る）

	質問事項	県調査			全国調査
		中1	中2	中3	中3
授業に関する項目	1 県 授業の始めに、先生から、どうやったら課題を解決できるか考えるように言われた	41.5 (1.1)	40.4 (7.1)	34.8 (4.0)	
	2 県 先生や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができていた	30.1 (4.6)	33.8 (8.4)	31.4 (6.4)	
	3 国 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う				38.4 (6.0)
	4 県 授業（国語、算数）では、自分の考えを理由を付けて発表したり、書いたりできたことがあった	40.1 (▲0.6)	42.5 (4.2)	28.6 (0.9)	
	4 国 授業（国語）では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う				35.3 (9.0)
5 県 授業（国語、算数）では、グループ活動のとき、一人の考えだけでなくみんなで考えを出し合って解決することができた	61.0 (▲3.7)	60.3 (4.2)	46.5 (4.2)		
家庭学習に関する項目	6 県 学校の宿題をしている	88.2 (0.1)	77.5 (4.3)	68.9 (3.0)	
	7 県 学校の授業の予習や復習をしている	42.4 (7.0)	37.0 (11.5)	27.4 (5.7)	
	8 国 家で、自分の計画を立てて勉強をしている				20.2 (3.6)
	9 国 新聞を読んでいる				4.4 (▲0.5)

算数の学習やパワーアップサポーターについてのアンケート結果

1 実施時期 平成30年7月

2 対象者 市内小学校第3・4学年児童（回答者数1,166名）

3 結果

1 あなたは、算数の学習が好きですか。下のア～エの中で、当てはまる記号に○をつけてください。

ア そう思う	<u>52%</u>	} 84%
イ どちらかと言えばそう思う	<u>32%</u>	
ウ どちらかと言えばそう思わない	<u>9%</u>	} 16%
エ そう思わない	<u>7%</u>	

2 算数の学習でパワーアップサポーターの先生がいて、うれしいとかんじるときはどんなときですか。

下のア～エの中で、当てはまる記号のすべてに○をつけてください。（○は、いくつつけてもいいです）

ア パワーアップサポーターの先生に○を付けてもらったり、まちがいについて教えてもらったりしたとき	<u>73%</u>
イ パワーアップサポーターの先生にノートの使い方について教えてもらったとき	<u>21%</u>
ウ パワーアップサポーターの先生に分からないところを教えてもらったとき	<u>67%</u>
エ パワーアップサポーターの先生にもほめてもらったとき	<u>63%</u>

4 考察

○本市では、84%の児童が算数の学習が好きだと回答している。

○本市の児童は、パワーアップサポーターに分からないことを教えてもらったり、間違いについて教えてもらったりしたときにうれしく感じる人が多い。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、教育研修大会の実施計画案

埼玉県学力向上
プロジェクト教員
H28・29 中央小 杉山教諭

【小学校算数】
子供たちと作る学習課題
見通しと振り返り

埼玉県学力向上
プロジェクト教員
H30・31 西中 酒井教諭

【中学校英語】
話し合い活動（ジグソー型活動）

授業を撮影し、映像資料を作成する
（うきしろスタンダード映像版）

市内教職員によるワークショップ型研修会の実施



優れた授業実践のVTR視聴後に、①学習課題、見通しと振り返りと②効果的な話し合い活動について協議し、授業の共通理解・共通行動を図る。

5

	市	県	全国	全国との差
(1)	40.4	42.5	43.2	2.8
(2)	63.8	66.3	66.5	2.7

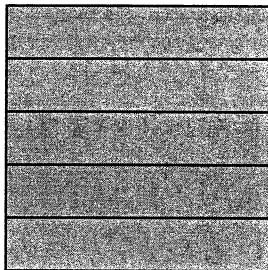
さくらさんたちは、学校の黒板に輪かざりをつけようと思い、先生から折り紙をもらいました。折り紙の枚数は100枚でした。

1枚の折り紙からは、折り紙の輪を5個作ることができます。

折り紙の輪を30個つなげて、輪かざりを1本作ります。

輪かざり1本の作り方

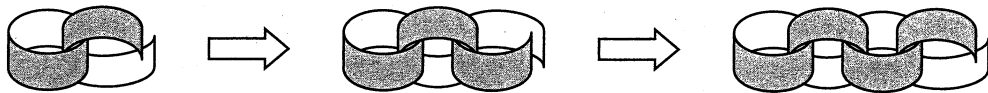
- ① 折り紙を同じはばで5つに切ります。



- ② 切った折り紙のはしの部分にのりをつけて、もう一方のはしの部分と重ねてはりあわせると、折り紙の輪が1個できます。



- ③ 折り紙の輪を次のようにつなげていきます。



- ④ 折り紙の輪を30個つないだものを、輪かざり1本とします。

さくらさんたちは、**図1**のように、横の長さが7 mの黒板を、50 cmずつに区切って、上の部分に輪かざりを1本ずつたるませながらつけようと計画しています。

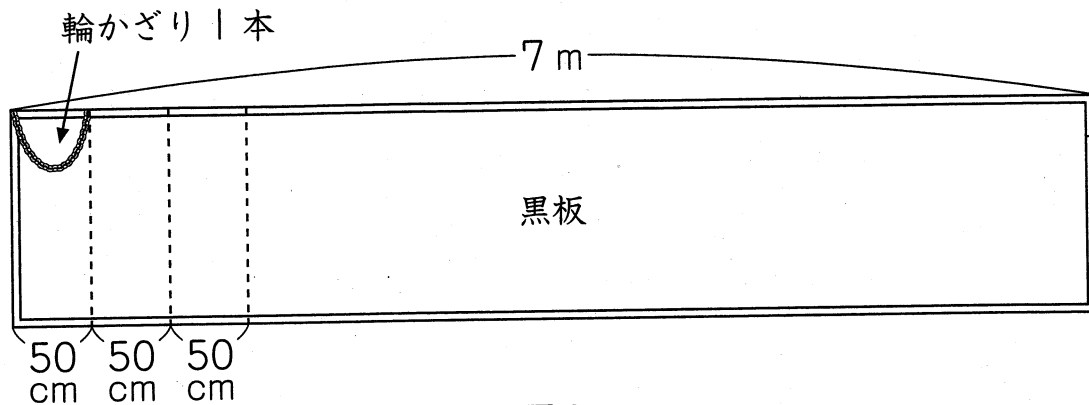


図1

- (1) 横の長さが7 mの黒板の、はしからはしまで輪かざりをつけるためには、折り紙の枚数が100枚あれば足ります。

そうたさんは、そのわけを、次のように説明しようとしています。

【そうたさんの説明】

黒板の横の長さは7 mなので700 cmです。

黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

【そうたさんの説明】に続くように、折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを、式や言葉を使って書きましょう。

もらった折り紙は、赤、青、黄、緑の4色が、それぞれ同じ枚数ずつありました。

さくらは、折り紙の輪を、図2のように、赤、青、黄、緑の順にくり返してつなげ、輪かざり1本を作ってみました。

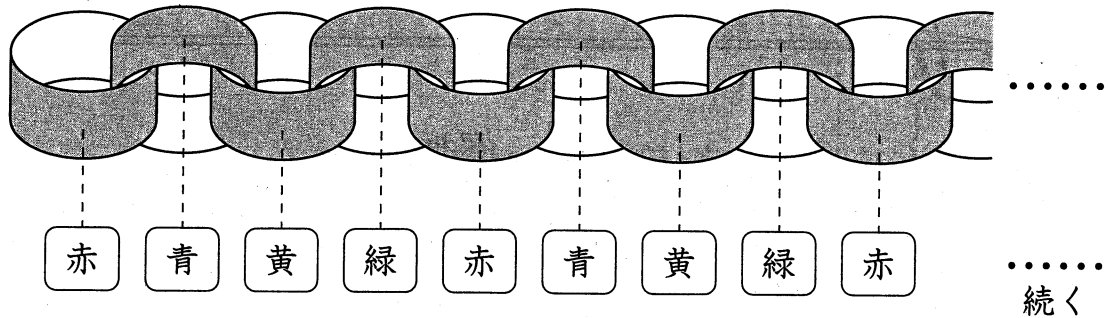


図2

(2) 上の図2のように、1個目の折り紙の輪の色を赤にして、輪かざり1本を作ったとき、30個目の折り紙の輪の色は何色ですか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 赤

2 青

3 黄

4 緑